

(仮 訳)

プレス・リリース

2014 年 12 月 22 日
バーゼル銀行監督委員会

資本フロアに関するバーゼル銀行監督委員会の市中協議

バーゼル銀行監督委員会(以下、「バーゼル委」)は、本日、非内部モデル手法である標準的手法に基づく資本フロアのデザインに関する市中協議文書を公表しました。

バーゼル委の提案するフロアは、銀行システムにおける資本水準が一定の水準を下回らないことを確保するものです。フロアは、内部モデル手法に起因するモデルリスクや測定誤差を軽減することも意味します。また、銀行間の資本の比較可能性を向上させるものです。

2014 年 11 月のバーゼル委の G20 首脳に対する報告書に言及されているように、バーゼル委は、銀行間の自己資本比率のばらつきを減少させるための措置を講じています。本日の市中協議文書は、リスクベースの自己資本比率の信頼性及び比較可能性を向上させることを目的とした一連の政策及び監督上の措置の一部となるものです。

バーゼル委は、規制資本の各標準的手法の枠組みを改訂しており、本日、信用リスクに係る標準的手法の見直しを公表しました。提案されている資本フロアの枠組みは、これらの標準的手法の最終規則をベースとするものであり、現行のバーゼル I の枠組みに基づく過度的な資本フロアを代替するものです。

フロアの水準調整は、この市中協議の対象外です。バーゼル委は、信用リスク、マーケット・リスク、オペレーショナル・リスクに係る標準的手法の見直しの最終化のための作業と併せ、また、資本枠組みの継続的見直し及び簡素さ・比較可能性・リスク感応度のバランスを考慮し、フロアの水準調整を検討する予定です。

バーゼル委は、本市中協議文書のすべての側面に関し、コメントを歓迎します。提案に関するコメントは、2015 年 3 月 27 日までに、次のリンク：<http://www.bis.org/bcbs/commentupload.htm> を使用してアップロードしてください。すべてのコメントは、コメント提出者が特に機密の取扱いを要求しない限り、国際決済銀行のウェブサイトに公表されます。